

手順5：ガイドレールの取付け(注：別売り・別梱包) 及びテープスイッチコネクタの接続

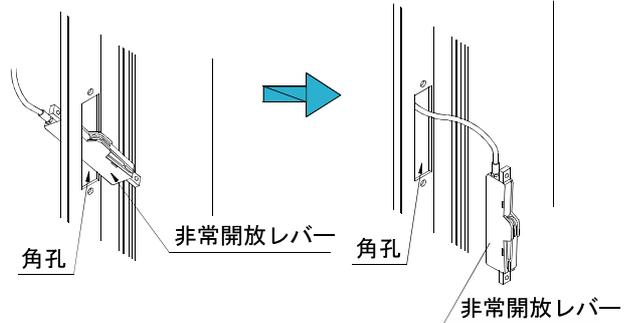
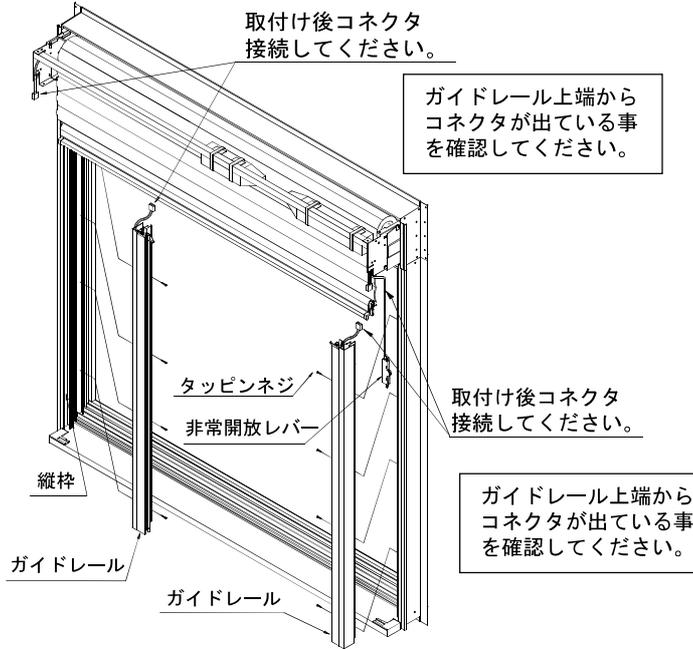
取付概要

左右のガイドレールを添え付けのネジにて縦枠に固定します。

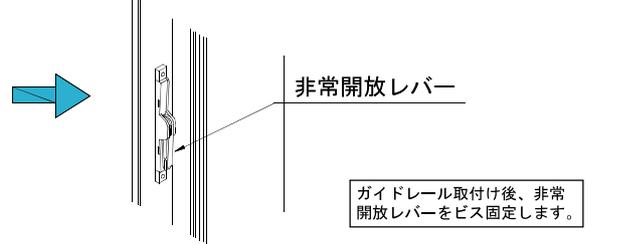
1 非常開放レバーの仮固定

外観右側のガイドレールを取付ける前に、非常開放レバーを下図のように仮固定します。

角孔から非常開放レバーを通します。



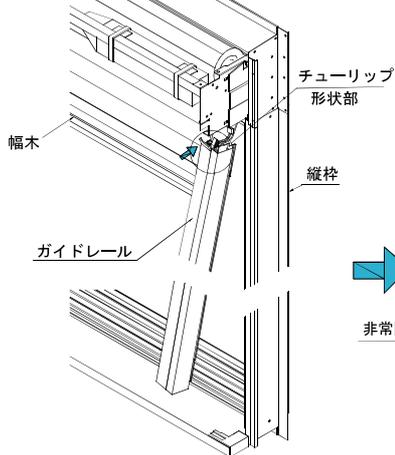
非常開放レバーを角孔に嵌め込みます。



2 ガイドレール立て込み方法

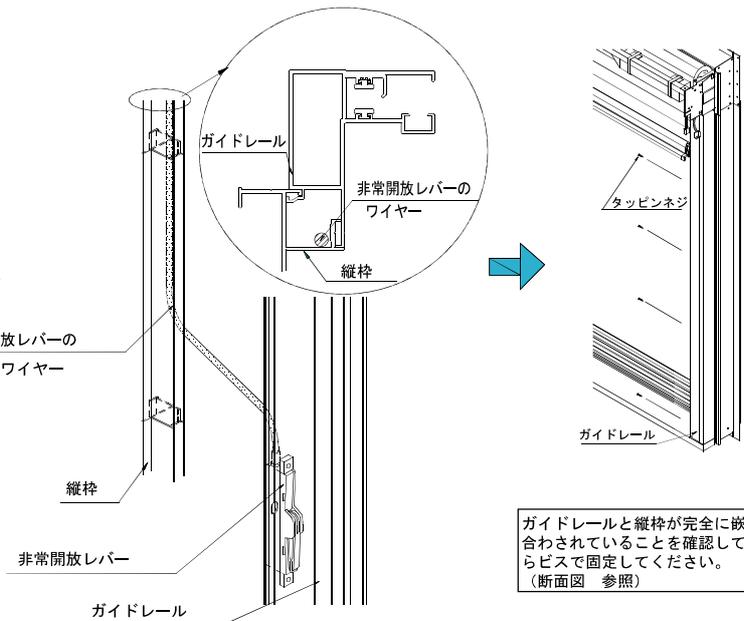
下図①、②、③の順にガイドレールを立て込みます。

①ガイドレール上部(チューリップ形状部)を幅木に合わせて差し込みます。



②非常開放レバーのワイヤーを縦枠の図示の部分に添わせてください。

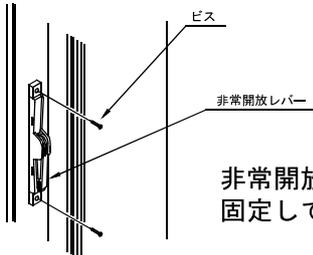
③ガイドレールを縦枠に嵌め合わせ、ビスで固定します。



ガイドレールを縦枠に嵌め合わせる際に、下枠部を傷付けない様に取付けて下さい。

ガイドレールと縦枠が完全に嵌め合っていることを確認してからビスで固定してください。(断面図参照)

3 非常開放レバーのビス止め

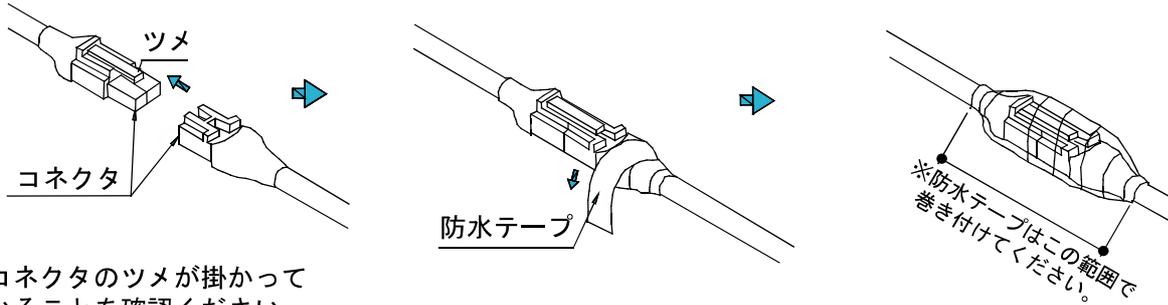


非常開放レバーをビスで固定してください。

4 テープスイッチコネクタの接続

下図のようにコネクタを接続し、付属の防水テープをコネクタに巻いてください。

※防水テープはコネクタのツメ側から巻いてください。
逆から巻くとコネクタの接続部が外れやすくなります。
※防水テープを巻く時は、テープを張りながら巻いてください。
※防水テープは本体に同梱されております。



コネクタのツメが掛かっていることを確認ください。

お願い

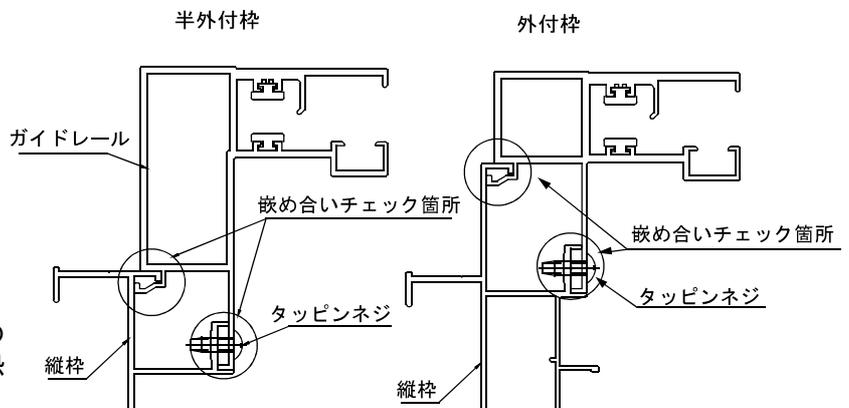
漏電等を防ぐため、防水テープは確実に巻いてください。

4 ガイドレールの取付（断面図）

お願い

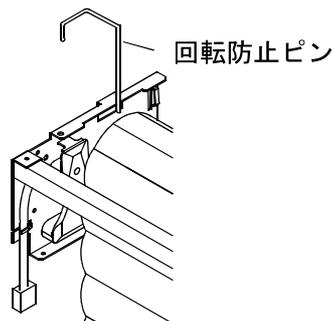
右図のようにガイドレールと縦枠が完全に嵌めあわされていることを確認してからビス止めしてください。

嵌め合わせが不完全だとシャッターの作動不良の原因や性能上支障が出る恐れがあります。



5 回転防止ピン

ガイドレール取り付け終了後、回転防止ピンを抜いてください。

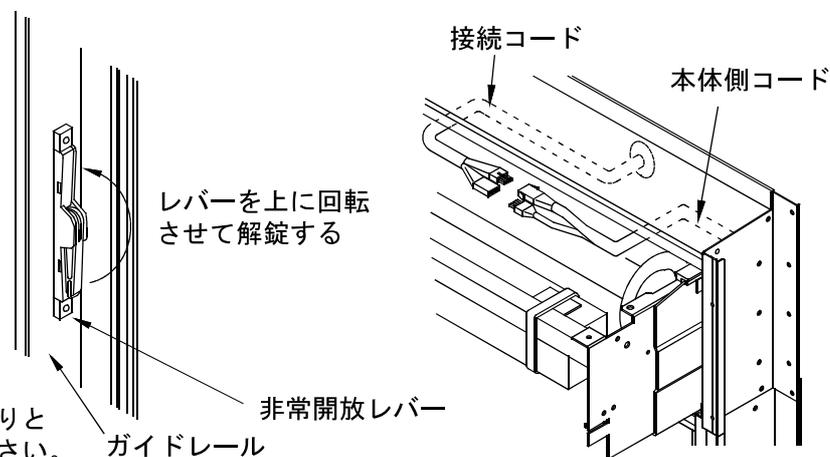


お願い

回転防止ピンはガイドレール取付け完了後に抜いてください。

手順6：接続コードと本体側のコネクタ接続 及び結束バンドによる結束

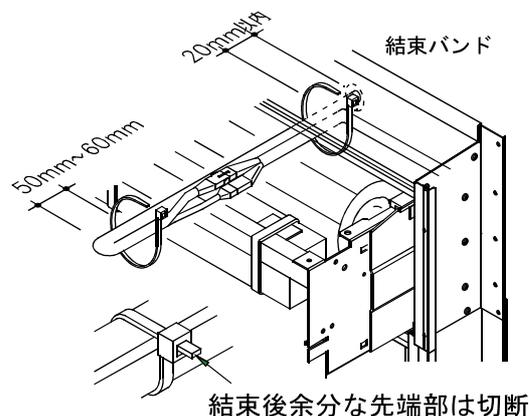
非常開放レバーを解除して、手動でゆっくりとシャッターを下降させてコネクタを接続できる作業スペースを確保します。
本体側コードと接続コードのコネクタを接続してください。



お願い

コネクタのツメ部がしっかりと噛み合うように接続して下さい。

接続コードと本体側コードをまとめて付属の結束バンドにて右図の2箇所を結束します。
結束後、余分な結束バンドの先端部は切断してください。



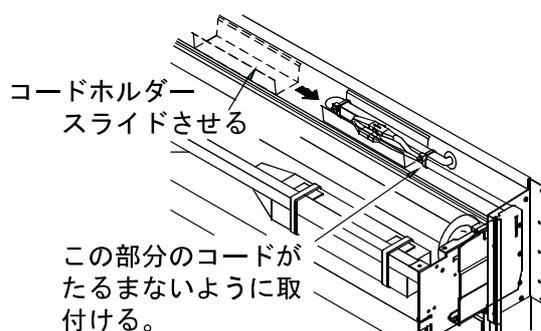
結束後余分な先端部は切断

お願い

結束コードが躯体に入り込まぬようにしっかりと結束してください。

手順7：コネクタ部分のコードホルダーへの格納

手順3で取付けておいたコードホルダーをスライドさせてコネクタ部分を納めます。



以上で本体の取付けが完了です。

本体取付完了の後に、シャッターボックスカバー、操作スイッチを取付けて仮設電源にて作動確認（初期設定）を行ってください。

※ボックスカバーの取付け方法はシェルムーン5型ボックスカバー取付けマニュアル（マニュアル番号MN-1288）を参照してください。

※作動確認（初期設定）の方法は、シェルムーン5型 アルミ電動・スチール電動電気工事マニュアル（マニュアル番号MN-1388）を参照してください。